

いずもぎき

議会だより

第109号

2020 令和2年10月23日



9月定例会

もくじ

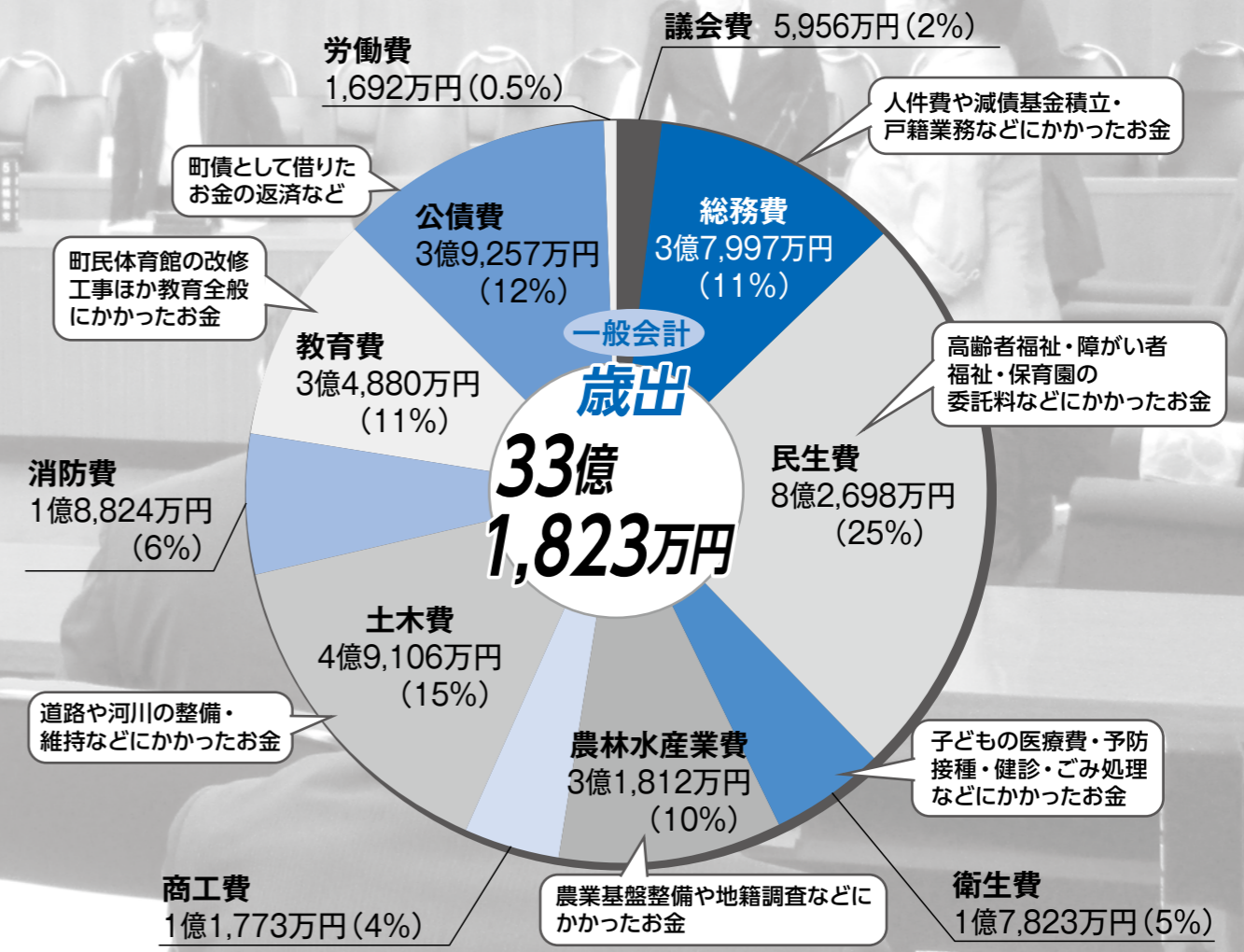
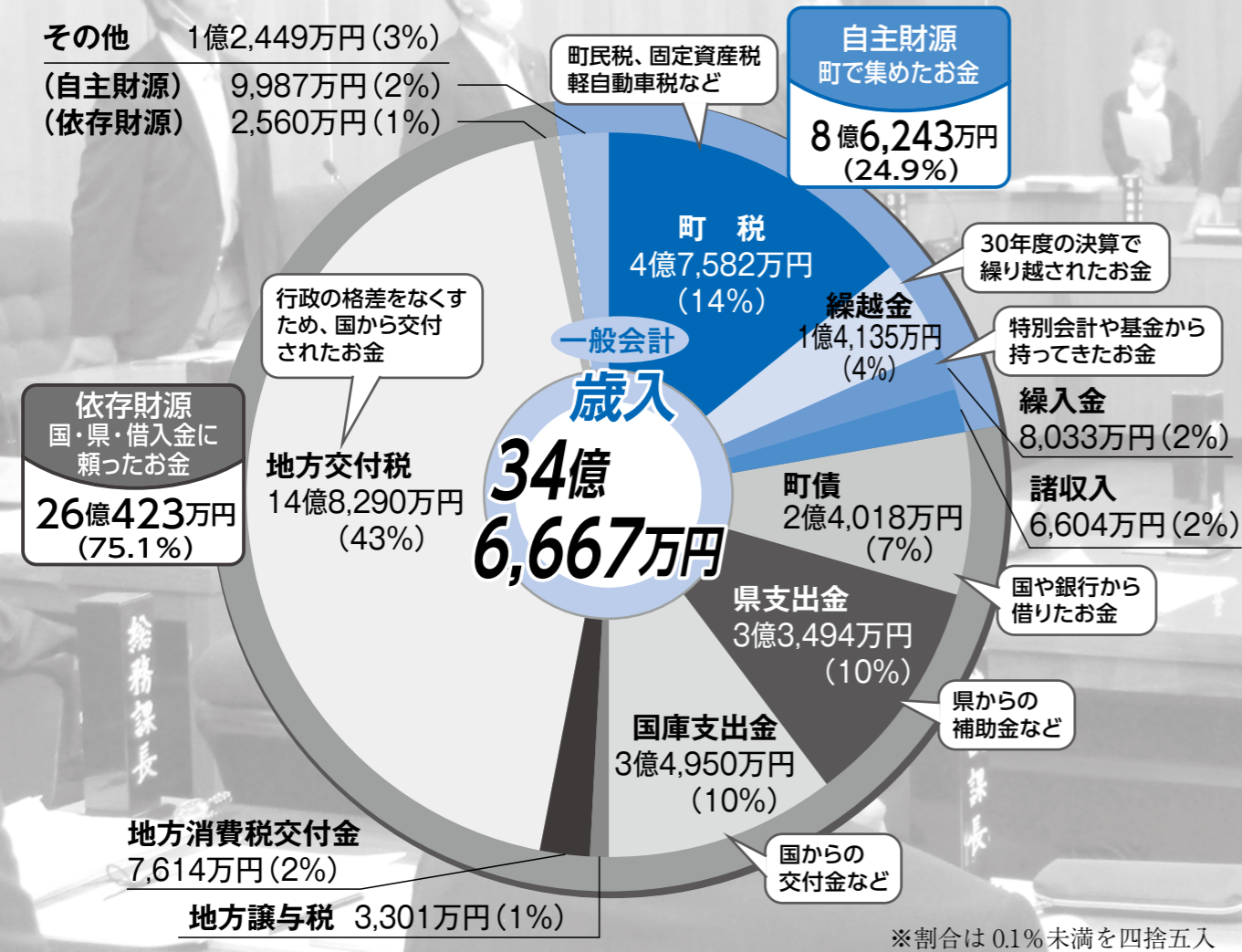
令和元年度決算認定	2
令和元年度主な事業	4
決算審査特別委員会	6
議会モニターの委嘱	7
9月定例会	8
補正予算質疑	9
議会のうごき	9
全員協議会	10
一般質問(7人が町政をたずぬ)	12
議員表彰	20
出まえ議会のお知らせ	21
みんなの声	22



令和元年度決算認定

一般会計並びに8特別会計の決算は

歳入 一般会計 34億6,667万円 特別会計 18億1,718万円 総額 52億8,385万円 (前年比 1億1,334万円減)
歳出 一般会計 33億1,823万円 特別会計 17億2,926万円 総額 50億4,749万円 (前年比 1億2,042万円減)

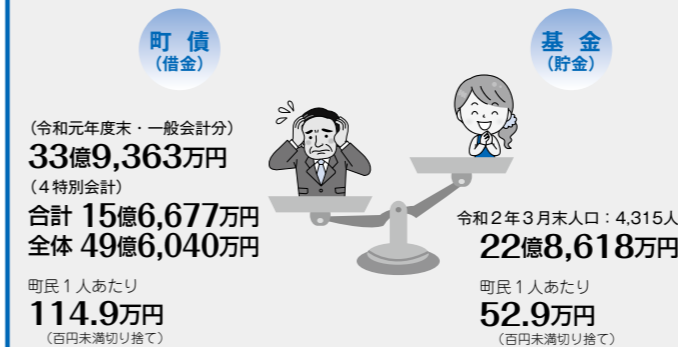


各会計の決算状況

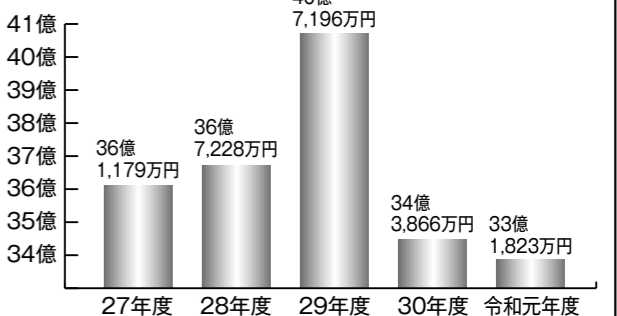
会計名	決算		差引残高
	歳入	歳出	
一般会計	34億6,667万円	33億1,823万円	1億4,844万円
特別会計			
国民健康保険	5億5,793万円	5億1,625万円	4,168万円
介護保険	6億8,530万円	6億6,729万円	1,801万円
後期高齢者	6,067万円	6,006万円	61万円
簡易水道	1億9,242万円	1億8,219万円	1,023万円
特定地域生活排水	1,156万円	1,036万円	120万円
農業集落排水	1億1,125万円	1億616万円	509万円
下水道	1億5,840万円	1億5,490万円	350万円
宅地造成	3,961万円	3,201万円	760万円
総額	52億8,385万円	50億4,749万円	2億3,636万円

金額は千円以下を切り捨てて表示のため合計金額は一致しません

町債(借金)と基金(貯金)の状況



5年間の一般会計歳出決算の推移



令和元年度 一般会計 主な施策をピックアップ!!

真に必要な環境整備と町民サービス!

～主な事業を紹介～

総務課関係

- ・町デマンド交通運行費補助金 880万円……地域住民の移動手段を確保するための運行費補助
- ・ふるさと出雲崎応援基金積立 2,043万円……ふるさと応援の寄附金を財源とした事業（寄附 679件）
- ・常備消防事務委託 1億1,157万円……消防救急体制の維持
- ・防火水槽設置工事 2,476万円……消防水利の確保（尼瀬岩船町地内・藤巻地内）

町民課関係

- ・資源ごみ分別回収・処理委託 2,192万円……生活環境の保全と公衆衛生の向上と適正処理
- ・一般ごみ収集運搬・処理委託 3,532万円……同上
- ・ふるさと就職支援商品券利用助成金 711万円……新規学卒者等に対し交付（受給者 66人）
- ・新潟県労働金庫預託金 700万円……新潟県労働金庫の資金源を充実するため預託

保健福祉課関係

- ・高齢者福祉タクシー・バス 566万円……高齢者へのタクシー券の支給（利用者 477人）
- ・子どもの医療費助成事業 943万円……子どもの医療費の助成（0歳から高校卒業まで）
- ・定期予防接種事業 960万円……予防接種法に基づく定期接種の実施
- ・健康増進事業 870万円……18歳以上を対象に実施（健康相談、健康診査）

建設課関係

- ・除雪委託 759万円……冬季道路・歩道の除雪（部分出動 1回）
- ・町道維持修繕工事 2,029万円……町道の修繕工事
- ・道路新設改良測量設計業務委託 1,711万円……町道用地測量・設計業務委託
- ・道路新設改良舗装工事 1億3,014万円……町道の新設・改良・舗装工事
- ・町家暮らし住宅改修工事 890万円……町家暮らし住宅改修（尼瀬地内）
- ・街なみ環境整備工事 735万円……四季彩小路整備工事 他3件
- ・町新生活スーパー住まい取得 2,452万円……若者・子育て世代の支援（25件）
- ・リフォーム支援補助金



四季彩小路（尼瀬地内）



町家暮らし住宅（尼瀬地内）



歴史や五郎兵衛（羽黒町地内）



デマンド交通（てまりん）

産業観光課関係

- ・県営中山間地域総合整備事業負担金 4,325万円……八手地区の基盤整備事業に係る負担金
- ・多面的機能支払交付金 1,950万円……農地等の保安全管理、共同活動、施設の長寿命化に係る交付金
- ・地籍調査業務委託 1,464万円……地籍調査（沢田、藤巻、滝谷）
- ・海浜クリーン作戦委託 1,284万円……海岸漂着物の清掃
- ・出雲崎「美食」めぐり実行委員会負担金 429万円……出雲崎「美食」めぐり実行委員会に対する負担金
- ・町船まつり協賛会負担金 763万円……船まつり協賛会に対する負担金
- ・石油記念館・物産館屋根防水改修工事 994万円……屋根防水改修
- ・天領の里空調設備改修工事 626万円……空調設備改修

教育課関係

- ・通学バス運行業務委託 1,857万円……大型バス2台を配置し、登校時1回、下校時2回運行（利用児童 75人）
- ・町民体育館屋上防水改修工事 4,723万円……町民体育館屋上防水工事

こども未来室関係

- ・保育実施委託 1億2,894万円……充実した保育の実施
- ・保育所等整備交付金 1,674万円……小木之城保育園（エアコン・サッシ取換、床暖房修繕 等）
- ・児童手当 4,842万円……児童手当支給（H31.2～R2.1まで 延4,345人）

ここが
聞きたい!!



中野 勝正 委員長

決算審査特別委員会

令和元年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し、次の意見を付して全会一致で認定されました。

9月15日

総務文教分科会

町民の利便性確保のため、デマンド交通運行のさらなる拡充を求める。

地域おこし協力隊の活動内容を町民に広め、町のPRを進めるよう求める。

ハザードマップマニュアルの町民への理解と周知・活用する努力を求める。



社会産業分科会

健康診断の受診率は、54.3%と県内でも上位であるが、早期発見の成果も出ており、町目標の60%にさらに近づけるよう求める。

良寛記念館と心月輪の相乗効果を上げるため、運営管理について一本化を進めるよう求める。

海岸地域の排水路について、不具合箇所を特定し、改善を図るよう求める。

海岸に漂着するマイクロプラスチックゴミについて分析し、町民の意識を高め、環境問題への提起をするよう求める。

マスメディア等の活用情報発信については、テレビや新聞だけでなく、SNSやラジオ等の効果的な情報発信方法を取り入れるよう求める。



議会の活性化

議会モニターの委嘱

「議会モニター」（4期目）の10名の方に9月1日、委嘱状が交付されました。

町民の皆様から幅広く意見を聴取し、今後の議会運営・議会活動に反映させるため、4期目より、定員を5名から10名に増員いたしました。

議会モニターは2年の任期で、年4回の定例会や常任委員会などを傍聴していただき、議会運営などについて意見や感想を述べていただきます。

議会ではモニターの方々の意見を参考にして、今後の議会運営に活かし、活性化に努めてまいります。



金子俊治さん



南波久敏さん



小林亜玲さん



仙海議長 佐藤美公さん 中田孝信さん
佐藤光代さん 日山正雄さん 井口修作さん 島明日香さん 遠藤敬子さん

教えて 定例会



「予算」って一口に言うけど、一般会計予算や特別会計予算、それに補正予算もあって分かりにくいな。どういう仕組みなの？

「一般会計」は4月から一年間の年間予算として、一般の歳入・歳出を総合的に経理する会計のことだよ。「特別会計」は、それとは別に、国民健康保険事業や簡易水道事業など、条例で定めた8つの事業についての会計なんだ。それぞれ3月定例会で慎重に審議され、可決されると4月1日から新しい予算の執行が始まるよ。始めに決まったものだから当初予算とも言われるね。



今回の「決算」は？

4月から次の3月末までが1会計年度だけど、その年度の歳入・歳出を最終的に審議して承認するのが9月定例会なんだ。決算議会と言われているよ。



補正予算というのは？

すでに成立した町の当初予算に関して、経費の不足や、その後生じた事由に基づいて追加・変更を行うものだよ。出雲崎町では、ほぼ、議会の都度に提出されて、審議されている。今回の議会日よりでは、P2～6が令和元年度の決算、P8～9が令和2年度の補正予算について、お知らせしているよ。



新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業 13事業を追加

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計	6,516万円	40億 513万円
特別会計 国民健康保険事業	148万円	5億 742万円
特別会計 介護保険事業	1,869万円	6億5,869万円

主な歳入

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金追加……………6,403万円
- ・土地売払収入（岩船町内）……………166万円

主な歳出

- ・地域コミュニティ感染症防止対策事業……………678万円
- ・インフルエンザ予防接種費用臨時助成金……………285万円
- ・町農業者支援事業補助金……………1,283万円
- ・町漁業者支援事業補助金……………600万円
- ・町ふるさと逸品開発等支援助成金……………700万円
- ・日本遺産北前船交流特別公演事業（鼓童等）……………456万円
- ・道路新設改良舗装工事追加……………1,458万円
- ・町家展示施設整備工事（旧 津又邸）……………580万円
- ・公共施設自動水洗改修事業……………264万円

人事案件

固定資産評価審査委員会の選任に同意

中野正和氏（大門）
小黒重幸氏（久田）

教育委員会委員の任命

教育委員会の任命に同意



松岡 聡氏（川西）



宮田よしみ氏（大寺）

陳情

陳情第7号

「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

審査結果 採択

可決された意見書

発委第2号

コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書

議決結果 原案可決

発議第1号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

議決結果 原案可決

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

9月11日

**新型コロナウイルス
感染症緊急包括
支援交付金**
75万円

小黒議員 当町の二つの園は子どもの人数的にはほぼ同じと思うが、支援額の違いは何か。上限まで、同様に支援を活用してもらいたい。

こども未来室長 消耗品関係で、各園に照会した結果、出雲崎こども園では、消耗品の他、サーマルカメラ等の備品が入っているため。

**美食めぐり実行委員会
負担金減**
▲200万円

諸橋議員 中止分が減額となったが、今後の実施の見込みはどうか。

産業観光課長 10月に関係者との打ち合わせで、冬の美食めぐり開催の可能性やその方法について検討する。

**街並み案内看板
設置工事**
100万円

加藤議員 天領の里から良寛記念館等のルートをしつ

かり明記して、設置して欲しい。

建設課長 天領の里第2駐車場街並み側に設置する。完成した四季彩小路から、街並みに人を呼び込むためのもの。ルートを示す看板は、街なみ推進室等と協議のうえ、提案したい。



街並み案内看板設置予定場所

**地域コミュニケーション
感染症防止対策
事業補助金**
678万円

高桑議員 非常に良い支援策と思うが、使途の幅が広く、各行政区で考えなければならぬ。具体的な使途例をどの程度示して説明するか。

総務課長 この事業のねらいの一つは、町全体で感染症対策を真剣に考えてもらう事でもある。感染予防対策であれば、例に限らず、広く対象とし、例を示して丁寧に説明したい。

**日本遺産北前船
交流特別講演会事業**
450万円

中川議員 出雲崎町に「鼓童」を呼ぶというのは、凄い事だと思う。町民対象の抽選で、450名に限定するのは惜しい。子どもたちには、ぜひ聞かせてやりたい。2階席や体育館の外も開放して、一人でも多くの方が聞けるよう検討いただきたい。

産業観光課長 多くの方に聞いていただきたいと考えているが、感染症対策を優先し、



期待される「鼓童」のパフォーマンス

**社会資本整備
総合交付金減**
▲168.6万円

中野議員 町としては大きく行っている事業で、交付金を満額活用してもらいたいところだが、減額理由はなにか。

建設課長 当初要望した交付決定が下りなかったもの。主なものでは、米田町営住宅の外壁の改修工事、4棟分が3棟分となった。

**戸籍総合システム
改修委託料**
554.4万円

高橋議員 国の制度改正であり、全国の自治体で同様の改修が行われると思うが、国が面倒をみてくれるのか。

町民課長 住基ネットの中継サーバーは、各自治体が現在、どう構築しているかによって、必要かどうかに分かれる。

当町は3町村でクラウドを組んでおり、設置しないと接続ができない。また、国庫補助の対象にならないとの回答があった。

議会のつぎぎ(主なもの)

令和2年7月～9月

7・2	議会報特別委員会 (議会だより第108号)
9・7	町議会モニター意見交換会 議会報特別委員会 (議会だより第108号)
15・10	議会運営委員会 第8回全員協議会 ↓詳細はp10
19・7	議会運営委員会 第9回全員協議会 ↓詳細はp10
24・22	議会サロン(陽だまり) 社会産業常任委員会 ↓詳細はp20
9・1	広報研修会(新潟市) 町議会モニター委嘱式 ↓詳細はp7
11・8	議会運営委員会 議会サロン(妻入り会館) 9月定例会招集日 ↓詳細はp8、9
14	議会報特別委員会 (議会だより第109号)
15	社会産業常任委員会 総務文教常任委員会 決算審査特別委員会 ↓詳細はp6
17	9月定例会2日目(一般質問) ↓詳細はp12
18	9月定例会最終日 第10回全員協議会 ↓詳細はp11
26	議会サロン(陽だまり)

全員協議会

主なものから
抜粋して掲載しています

第8回 7月15日(水)

天領の里エリアの廃業店舗後の対応について

加藤議員 2店舗のうち1店舗が閉店した。賑わいのある活気に満ちた店舗を公募する考えはなかったのか。

産業観光課長 「さかたや」と「五つ葉」の2店舗が営業をしていたが、「五つ葉」が体力的理由で閉店した。天領の里指定管理者にその活用法について委ね、自店で運営していきたいと申し出があった。



出店で賑わいの創造を

出雲崎高等学校について

中野議員 町長は校長と意見交

換をし、包括協定を結ぶというような話しをしたがその内容について伺う。

町長 生徒一人ひとりの個性をしっかりと活かしながら出雲崎町の地域の中における高校として、町の活性化を全力を挙げて図っていきたいという意思を伝えた。

包括協定の原案はできており、秋ごろ締結の予定。町にとっては大変な高校であり、守るため徹底的にやる。

災害時の対応について

高橋議員 複合的な災害が多発する危険性が大変高く、色々な災害対応が求められ待ったなしである。その際は、町職員をどのように派遣するか。

総務課長 新潟県と30市町村で平成31年3月に大規模災害における「チームにいがた」による相互応援等に関する協定を締結した。

高橋議員 町民は防災行政無線に対する認識が緊張感を持ちながらもかなり緩くなっている。サイレン音を導入できないか。

総務課長 「これは違う」というのが警告音や告知音等で直感的

的に理解できる方法は大変重要である。今後検討をしていく。

就学援助を受けている世帯への支援について

高橋議員 ひとり親家庭に対する支援はあったが、経済的な困難から、就学援助を受けている世帯への支援がなかった。自治体が支援するよう定められており、早急に対応すべき。単年度ごとに認定されることだが、年度内は継続して支払われるという認識で良いか。

教育課長 その認識でよい。今年度収入が減少した世帯については、児童生徒1人につき、2万円に学用品や給食費、積立金等の就学援助費を加えた額を支給する。

新型コロナウイルス感染症に関する町の対応について

小黒議員 本町は町外の職員もいるが出勤時に体温チェックをしているのか。非接触型の体温計の利用状況を伺う。

総務課長 登庁後の検温はしていない。職員には毎朝検温をして熱があれば出勤をしないように徹底をしている。非接触型体温

温計は、既に公共施設に各課を通じて配布しており、施設の入館者全ての方を検温している。三輪議員 第4弾支援策の期間はいつまでか。

建設課長 支援策ができた第速やかに皆様に周知して実施する。終期は3月31日までである。

産業観光課長 観光施設利用促進事業は8月1日からを予定している。限定2,000人であり、概ね10月末までを予定している。

中川議員 新しい避難所とするふれあいの里に、咳や発熱等の症状がある方を優先的に受け入れるとのことだが、マニュアルはできているのか。

総務課長 症状がある方はふれあいの里に避難してもらい、他の避難所には極力行かないようお願いします。

一般会計補正予算の専決処分について

安達議員 児童生徒学習支援事業については、どのような形で行うのか。

教育課長 休業により、授業数が不足している。小学校では3、4、5限の授業の時間に取り出し的な形で個別指導を行う。さらに夏休みにパソコンを

第9回 8月19日(水)

全国各地で再燃した新型コロナウイルス感染症への対応について

加藤議員 道の駅などの往来が多い当町にも感染の危機が迫っていると感じる。重症化の恐れが強い高齢者や、基礎疾患がある方への感染が懸念されるが、当町から拡大しないためにも気を緩むことなく、更なる感染予防の徹底について伺う。

総務課長 町も常に緊張感を持ち、国・県と連携しながら感染症対策を行っている。町長を本部長とした新型コロナウイルス感染症対策本部を中心として継続して行っている。

新型コロナウイルス感染者が町内で確認された場合の対応について

高橋議員 いつ感染者が町内にしてもおかしくない。感染者が出た場合、町ではどのようにシミュレーションをしているか。

町民課長 感染者が出る前の対

楽天イーグルス「選手応援ボード」について

総務課長 池田駿選手を通して出雲崎町のPRを目的としている。9月29日から10月25日まで楽天球場で掲示する。



応援ボード

越後出雲崎天領の里に対する町の支援策について

産業観光課長 コロナ禍で厳しい経営状態であり、町として総額580万円の支援をしたい。
三輪議員・高橋議員 お金での支援は残念だ。天領の里には、経費削減だけでなくお客を増やすよう努力をお願いしたい。

応として、8月11日付けで、全戸に配布した。特に人権への配慮という部分についての町民の皆様へのお願いである。感染者は被害者であり、決して非難されるべきではない。感染者や家族等への誹謗中傷等を行わないようにという内容のものである。いざという時には防災行政無線により、町長からの直接メッセージを放送したいと考えている。

国・県の観光支援事業に対する状況について

三輪議員 当町の宿泊施設や観光施設は規模が小さいので、個々には難しいが、観光協会や町が音頭をとり、ぜひやってみてほしい。

産業観光課長 新型コロナウイルスを町内に持ち込まないような対策をとることが大切だ。宿泊業者の方々は、しっかりと感染防止対策を準備していただき、観光客を迎えていただきたと考えている。

令和2年度海岸地区空家等再生まちづくり事業について

総務課長 旧津又邸（稲荷町）の計画について、8月6日に地域の方々との意見交換会を実施した。

高橋議員 旧出雲崎駐在所跡地は県有地もあるとのことだが、

半分は町有地である。下隣は泊屋で、周辺には妻入り会館や舩太さんがある。これをうまく活用できるのではないかと思うが検討はされたか。

総務課長 更地にするというところで町としては、県に県有地を町に無償で譲渡してくれないかと申し出をしたが却下された。県有地は適正な価格で公売するということであり、町が公共施設に使用するための計画があれば、協議できるのではないか。

一般会計補正予算専決処分について

三輪議員 出雲崎こども園空調室外機修繕事業補助金で室外機はどのくらいの年数が経っているのか。どの程度の修繕をするのか。

こども未来室長 15年ほど経過している。室外機の圧縮機の交換とガスの入替をする。

良寛記念館を応援する新組織の設立について

教育課長 今年度、良寛記念館の新組織を新設する。会の名前は、良寛記念館応援倶楽部「てまりの会」に決定した。年会費については、一般会員が1000円、学生会員500円、賛助会員1万円ということとさせていたいただきたい。

加藤議員 会員を募集し毎年会員が増えてくれば良いが、もう一つ魅力がある形が取れないのかと思うがどうか。

教育課長 自分の持っている作品を良寛記念館に展示するなど、良寛に関わる部分で会員を募集することにより、良寛記念館と繋がりを持つる会員を一人でも増やしたい。ホームページなどによるPRはもちろんだが、口コミで会員同士の連携が図られる会にしていきたい。

小黒議員 前に良寛記念館の寄贈の中に伊達政宗の書状が見つかったという記事が新潟日報に出ていた。良寛記念館への寄贈に向けて話が進んでいるというところで終わっていたが、どうなっているのか。

佐藤教育課長 伊達政宗の真筆が見つかつたのでそれを寄贈したいという内容が掲載された。ただ、相手側も真筆となると色々な想いがあるようで寄贈には至っていない。

第10回 9月18日(金)

新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷や差別について

加藤議員 誹謗中傷、差別を起さないために、児童・生徒への問題提起と、インターネット上での誹謗中傷の未然防止や拡大

防止などについて伺う。

町民課長 広報いずもざき等で町民へ周知している。町長からのメッセージも出している。精神的なケアを充分に行っていく。インターネット等の書き込みにも、できる限りの対応・支援をしていく。

五郎兵衛の雪室と雪と鱈について

中川議員 町に雪室は幾つ確認されているか。

総務課長・産業観光課長 五郎兵衛では大きな雪室が発見された。浜焼きをしている魚屋さんなどには雪室があった。

雪は氷より鱈の保存に適している、その雪は近隣地域の上中条・小竹や大門から運搬した。
中川議員 鱈を今年の観光の目玉とできないか。

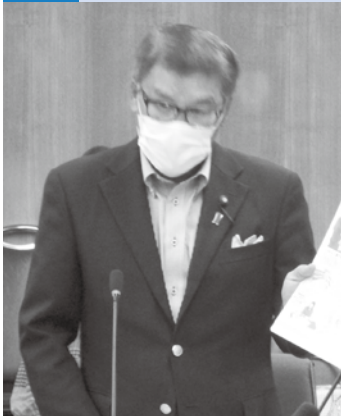
産業観光課長 美食街めぐりは冬場に行ったが大成功であった。出雲崎町の鱈は好評である。観光協会と今後検討していく。

出雲崎駅の営業時間変更について

総務課長 11月1日から7時10分から14時頃までに変更になる。



1 加藤修三 議員



質問項目

1. 各地で激甚災害が多発する中、町民の生命、身体及び財産を守る消防団員について

🔍 詳細は13ページ

2 中野勝正 議員



質問項目

1. 町としての出雲崎高等学校の応援や支援について

🔍 詳細は14ページ

3 中川正弘 議員



質問項目

1. 北前船の現状と妻入りの街並みに人を呼び込むには

🔍 詳細は15ページ

一般質問 ~町政を問う~



4 黒博泰 議員



質問項目

1. 黒崎水源改修について

🔍 詳細は16ページ

5 高橋速円 議員



質問項目

1. 「海岸地区空家等再生まちづくり事業」について

🔍 詳細は17ページ

6 三輪 正 議員



質問項目

1. 「関係人口」の増加で町活性化を

🔍 詳細は18ページ

7 高桑佳子 議員



質問項目

1. 町民総ガイド化事業とこれからの観光ガイドについて

🔍 詳細は19ページ



加藤 修三 議員

町民の安全、安心を支える 地域防災の要の消防団員について

町長

消防団員数の確保は 試行錯誤ながら全力を挙げている

**消防団員の定数は確保
されているか**

加藤 町消防団の皆様が防災活動、巡回で町民の安全、安心を支えていただき、消防団の皆様に感謝している。

平時の防災巡回、火災、地震風水害等、様々な災害時に出勤する消防団員の現状について伺う。

**消防団員数は減っている
中、団員の確保は試行錯
誤ながら全力を挙げてい
る**

町長 消防団員の定数は170名で女性団員3名いるが、定数に対する不足数は、一昨年は4名、昨年は9名、本年度は11名と増え、なかなか解決策が見当たらない厳しい現実であることも認識しているが団員の確保については、試行錯誤ながら全力を挙げている。

**消防団のなり手不足対策
と入団特典について**

加藤 消防団の皆様には、スキルアップと消防・防災など危機管理体制の強化で町民から認識と理解で団員の確保を図らなくてはならないと思うが、消防団員のなり手不足対策と団員の特典について伺う。

**消防団に対する地域の皆
さんのご理解と活動しや
すい環境整備を計画的に
進める**

町長 消防団員の活動しやすい環境を整備することが最重要であり、手当等団員の苦勞にこたえられる支給体制に努め、安全設備についても毎年計画的に整備しており、特典例として新潟消防サポート制度では消防団員と家族は登録店舗で割引、本町も20店舗から登録いただいております、本町独自に消防団員のインフルエンザ等接種費用の助成もし

ているが、団員の実情を十分考慮し、活動環境の整備を計画的に進めていかなければと考えている。

**女性消防団員の参加増と
スキルアップで主導的
地位の構築について**

加藤 国は2020年までに女性が活躍できる環境を30%目標にうたっているが、女性消防団員の参加増とスキルアップで主導的地位を目指す考えはないか伺う。

女性の活躍が広がる中、改めて幹部各位の皆さんと意見交換しながら啓蒙活動を展開していきたい

町長 現在、女性消防団員は3名であるが、これは画期的な1つの技術と捉えながら喜んでいる。男性団員の確保も難しい中、女性団員の皆さんから入りやすい体制を確保し、行政も加わりしっかりとやっていきたいと思っております、幹部各位の皆さんと意見交換しながら活動を展開していきたい。



災害から町民を守る心強い消防団員

町として県立出雲崎高等学校の 応援や支援について



中野 勝正 議員

町長

包括連携協定10月下旬に結ぶ

包括連携協定について

中野 7月の全員協議会の時、町長は、地元と共に頑張っている姿を強くアピールし町と県立出雲崎高等学校との包括連携協定の締結に向けて準備を進めていると話されたがどのように進んでいるか伺う。

10月下旬に

町長 拙速はしたくない。今、協定の締結に向けて、協議をしている。10月下旬に、協定を結べるように進めている。

中野 どのような協定の内容か伺う。

交流

町長 教育についての情報交換、小・中学校との交流。町民との交流、各種大学を含めての交流を考えてい

るが、過程において、議員の皆さんとも、しっかりと意見交換をさせていただき、内容を詰める。

中野 生徒及び教職員への支援策は町をあげて取り組んで頑張っていたかと思うが、町長の考えを伺う。

内容

町長 内容の勝負と思う。生徒会に年間3万円補助金を支給している。

出雲崎高校は県立のため、あまり学校には向かなかったが今後は、生徒や、教職員とも懇談をするようにしたい。

魅力

中野 魅力がなければ、生徒は集まらないと思う。魅力ある高校にするための支援策について伺う。

地域と連携し、一層強化する

町長 トリトンプロジェクトを、5年間進める。内容としては、新大生と出高とのオンライン。中学生の学びの体験、新聞による情報発信、学生による共同アクションなど、情報発信を徹底してやりたい。

町の生命線

中野 今年4月から、1学級減になり、さらなる少子化が進んでいる。町にとっても、この学校は町の生命線と考える。その為には、どのようにして進学率を高めるか考えを伺う。



県立出雲崎高等学校

町長 今年1学級減になったが、倍率は1.2倍であった。町にとっても、生命線と考えている。

学校の卒業生の皆さん、及び学校に関わる関係者のみなさんから、熱意を持っていただき、特殊な学校の存在を情報発信していただき、この地域になくてはならないという事を、徹底してお願いしたい。

一口メモ

トリトンプロジェクト
町と新潟大学が共同で「健康・教育・交通の3分野」を取り組むプロジェクト



中川 正弘 議員

北前船との関わりで町発展を

町長

これを契機に公開できるか検討

泊屋の廻船問屋の歴史を認識

中川 北前船の資料ほどの程度保存整理されているのか。

町長 敦賀屋、熊木屋文書・廻船問屋関連の資料は中央公民館の郷土資料室に、船簞笥などは天領の里に、船絵馬は羽黒神社、光照寺に保管管理されている。

中川 北前船、日本遺産に指定された町として、一元的にきちんと整備し展示する場所が必要になってくると思う。その中で、廻船問屋泊屋さんの保存状態、池があつたり、樹木も植えてあつたり、大きな石も蔵もある、その歴史的価値をどう評価しているか。

町長 母屋、蔵など建物内部は改修されており、歴史的価値はいいかと思うが、海岸バイパスから入

る、門、塀と石段は当時のままであり、保存し、できたら表示したい。

中川 私は、廻船問屋として財をなした当時の面影を知るシンボルとして、すべてを残して頂きたい。持ち主の佐野さんと協議し、できる限り保存して頂きたい。

町長 すべては難しいが、その辺は今回を契機にやってみたい。



旧来から残る廻船問屋泊屋の石段と門

妻入りの街並みへの動線は

中川 海岸公民館、妻入り会館、天領の里など、北国街道に入り口のある駐車場を活用し、海岸バイパスを走る車を街並みに引き込みたい。妻入りの街並みがあるという、看板を設置し、駐車場の位置を告知し、車を止め、散策できるようにしたらどうか。また、バイパスから街並みに入る道が羽黒町、鳴滝町あたりにもつと必要と思うが、考えはあるか。

町長 看板も改善し必要だと思う。しかし、それだけではなく、街並みに入つて、町民と交流したり、食べたり、中に入る動線が絶対必要になってくるので、そのためにも道路も必要であり整備していく。

中川 尼瀬、井鼻の町の入り口に妻入りの街並みがある、と言った看板がな

い。人が入ってくれば自然発展的に町長の言う、食べたり、お茶を出したり、土産物を買つたりと言う人や店が出来てくるのではないかと。まずは、街並みに呼び込む事が先決かと思うがどうか。

町長 仮称であるが、妻入り街道なり、妻入りの街並みに関する道路だという、しっかりと名称を変えて、皆さんと相談しながら、3月議会あたりで新たに提案してみたい。おつしやるとおりにやってみよう。



碁杭は何に使った？

黒崎水源（川西地内） 改修について



小黒 博泰 議員

町長

令和3年度に実施設計 2か年程度で完成したい

施設更新の水質調査 準備は進んでいるか

小黒 川西の黒崎水源について、平成29年9月にも質問した。黒崎水源は50年以上経過し、町内で一番古い水源で、町民からの色々な意見がある。隣に用地も確保しており、更新時期や水質調査などをしてこの先検討するとの答弁であった。3年経つが、水質の調査、施設の更新準備はどの程度進んでいるか伺う。

昨年度に水質改善の 検討業務を実施

町長 駅前地区に配水している黒崎水源の水質改善準備を昨年度に検討業務を実施している。黒崎水源を使用するには、硬度を低下させる必要があり、硬度低下の設備初期投資に約1億5千万とランニングコストも掛かる。他の浄水場の水を運用して、黒崎水源から配水している駅前地区の硬度を下げ検討をした。検討した中で、現実的に

黒崎水源は必要なのか

小黒 硬度が高く、ろ過装置もなく塩素消費だけで配水し、他の水源で配水量をカバーできるのに、黒崎水源を多額の設備費をかけて、施設更新をする必要があるのか伺う。

余裕水源として必要

町長 大釜谷浄水場の適正配水量では、駅前地区の要求量に不足する状況であり、黒崎水源を当面使う必要がある。駅前地区の硬度対策工事が完成した時点で、水需要の状況を見ながら松本水源、大釜谷浄水場

の配水範囲を駅前地区の一部に広げることができれば、黒崎水源を使用しないことも考えられる。

しかし、急な漏水事故や火災による水需要、施設メンテナンスによる減水などに対応するには配水量に余裕を持つ必要がある。黒崎水源については、新川西水源と同様に、不要となっても余裕水源として維持していく必要がある。

少しでも美味しい水を

小黒 町内でも川西の水は、美味しくない。洗濯、浴槽など水回りに弊害がある。早めの水質改善を願いたい。

しばらく時間を

町長 住民の皆さんが困っておられることを解消すべく、最善を尽くすべきだと思う。再検討して、ご迷惑をかけないよう努力していきたいと思うので、しばらく時間を貸していただきたい。

大釜谷水源・浄水場
平成26年供用開始。
地下水をろ過設備で処理し、
塩素消毒し配水している施設。



黒崎水源・浄水場
昭和38年供用開始、57年経過。一番古く、ろ過設備もない水源。地下水を塩素消毒のみで配水している施設。





高橋 速円 議員

海岸地区空家等再生まちづくり事業について 旧津又商店改修工事は、VR（仮想現実）、 QRコードで視覚的に展示すべきだ

町長

いまは限定的な開館だ

高橋 旧津又邸改修工事を町は日本遺産ガイドンス施設としているが、次世代にも耐えられる展示、管理体制を構築すべきだと思う。類似施設と同じなら一過性で終わってしまう。展示方法を変え、次世代を見据えたスタッフの育成も含めて臨んでほしいが如何か。

**大規模な工事ではない
苦肉の策で暫定的だ**

町長 外壁の改修と建物内部の一部を見学できるようにする。ただトイレや冷暖房の整備は予定していない。経費をかけないで他の施設と連携しながら、わかりやすく整備したい。苦肉の策として当面この北前船の資料展示室を設け、暫定的に対処したい。

**泊屋付近の石積み等を
町民にアピールすべきだ**

高橋 バイパス沿いの石積みの存在・意味を町民にしっかり把握してもらうべきだ。

泊屋以外は

歴史的価値はない

町長 駐在所跡地の石積みは全く歴史的価値はない。北前船との関わりもない。泊屋は邸内の石、池、塀など一体的にかつての歴史を保存し、再現したい。原形を変えたら遺産にならない。泊屋は原形を留めている。だから大事だ。

**ガイドンス施設としては
手狭で盛り込みすぎだ**

高橋 日本遺産認定には8条件あった。その全部を



旧津又邸の左右には飲食店と妻入り会館が並ぶ

納めるのは無理だ。

特に出雲崎おけさは今の説明では疑問だ。そもそも出雲崎おけさはその歌いだしが二つある。ご存知かどうか。どう展示するか。

**先人の歴史・伝統は
残していくべきだ**

町長 お船唄も出雲崎おけさも聞いていただく施設は必要だ。十分考慮する。

VR（ヴァーチャル・リアリティ）やQRコードを導入検討は如何か

高橋 従来の展示方法ではなく、視覚に訴える展示

を提案する。コンペ形式で若い斬新な提案を募つたらどうか。

今は毎日、開館とはいかない

町長 残念ながら苦肉の策でやるので、関係者と協議して進めたい。恒久的な常設的な施設ができたならば前向きにやりたい。

**神輿渡御について提案
する**

高橋 海岸地区には二つの神輿渡御があった。いまの石井神社の江戸風の神輿と尼瀬・諏訪神社の京風の神輿だ。お囃子（チャンチャコチャン）も違うし、その行列も違った。つまり江戸文化と京文化が海岸の狭い街中で激突していた。これは後世に残すべきだ。

今後の課題

掘り起こしたい

町長 他にない歴史遺産を発掘し町の再生に生かしたい。

「関係人口」の増加で 町活性化を



三輪 正 議員

町長

重点的に対応できる体制を つくる

交流人口から 関係人口増を

三輪 今までは交流人口の増加のため観光客を増やし、イベントを実施して多くの方に来てもらうやり方が主体であったが、一過性が終わってしまう傾向があった。

「関係人口」は町に関心を持つ、仕事等で関わりを持つて一過性でなく、出雲崎のファンになってもらう。将来的には出雲崎への移住や住居は県外で時々移住する、二か所居住などがある。当町の関係人口の取組について伺う。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

しごと創生総合戦略

町長 関係人口の増加で町の活性化という質問であるが、これからそういう方向に向かっていくと思う。最近では湯沢町などが「ワーケーション」のモデルに指定されている。

町では「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な基本目標の一つに様々な人間が関わり、訪れ、交流する町づくりを掲げている。

まるごとオーナー制度や地域おこし協力隊員の採用など実施している。

出雲崎に関わりのファンを

三輪 東京出雲崎会は会員約千名、ふるさと納税寄附者、毎年町で合宿の東京芸術大生やまるごとオーナー参加者など町と関わりのある人は沢山いる。

また日本遺産の北前船や今後登録予定の世界遺産の佐渡金山などに関心のある方など出雲崎に関わりを期待できる人は沢山いると思う。

あらゆる可能性を

求めながら行動する

町長 出雲崎においていただき、理解して将来的に

は住んでもらいたい。そのためいろいろな方策、産業振興、教育、子育てに力を入れていく。

あらゆる可能性を求めながら行動することが大事である。

専門の窓口担当設置を

三輪 関係人口を増やし、移住を増やすには、空き家、職場各種支援策など「総合窓口」を設け、専任の担当者を固定して、あら

ゆる相談を窓口で出来る体制をつくるべきと考える。

横の連携をとり

全庁で取り組む

町長 横の連携を取りながら、全庁で取り組む。私も企業などにトップセールスをして、出雲崎を売り込んでいく。議員の言われるよう、重点的に対応できる体制を整えるべきだと思う。



人気が高いまるごとオーナー（梅の収穫）

観光ボランティアガイドを 観光立町の力に



高桑 佳子 議員

町長

おもてなしの気持ちを

伝えることが基本

高桑

出雲崎町の歴史や妻入りの街並み、良寛さんは、他町がまねのできない誇るべき観光資源である。案内看板や整備等、様々な工夫を凝らして、街並みを歩く個人の観光客は増えているように感じる。

「静かで歴史を感じる良い町ですね」とよく言われるが、実は、その歴史にしても良寛さんにしても、ただ歩いただけでは、残念ながら分かりにくい。しかし、ボランティアガイドを利用された観光客の満足度は高く、来て良かったと言ってもらえる。

観光ガイドでご案内し、丁寧におもてなしをする事、それこそが、地道ではあるが、出雲崎のファンになっただけのために、堅実に確実な方策ではないか。

観光ボランティアガイドの 制度と料金体系の見直しを

高桑

全国で見ると、無料ガイドの観光地は数多くある。無料にすれば、その

分を町が負担することになるが、それは、出雲崎町を売り込むための投資なのではないか。

例えば、週末に天領の里にガイドを常駐し、「無料ガイド」の旗を立てたら、妻入りの街並みを歩いてみたいけれど、どう歩いたらいいか迷っている観光客を拾えるのではないか。満足していただければ、その感想はSNSで広まる時代だ。観光客一人一人の出雲崎での印象が、これから出雲崎町の観光がどうなっていくかに反映してくる。

ガイドの高齢化も進んできています。町民総ガイド化事業で人材を育て、若い方も参加できるように料金体系をしっかりとさせ、制度自体を見直すべきではないか。

町長

観光客を受け入れる側のおもてなしの気持ちを伝えることが基本と思う。出雲崎が他所と違って、こういうことするという対応が価値を生む。ガイド料金がどの程度なのか、また報酬等をどのよ

うに考えていくか、もらうものはもらうべきだが、現実にそれぞれの考えを聞いて、対応すべきもの、改善すべきもの、進めるべきものは進めるということで対処したい。

まちあるきイベント復活と 観光おもてなし講座を通年に

高桑

町民総ガイド化事業で「観光おもてなし講座」を冬期間の4回コースで開催しているが、予定の合わない方もある。参加しやすいよう通年で開催はできないか。

また、以前行っていた「まちあるきイベント」は大変好評で、町外からの参加もあり、リピーターが多かった。ぜひ復活させてはどうか。

町長

「まちあるきイベント」について、今年ではできなかったが、来年度以降、テーマを決めて積極的に実施していきたい。「観光おもてなし講座」は、参加者の意見を聞いた中で検



観光ガイドでおもてなし

良寛学習にまちあるきを 積極的に取り入れて

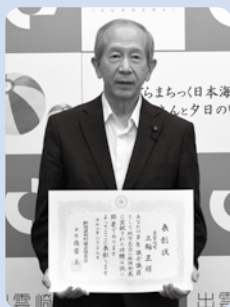
高桑

義務教育9年間を通して、良寛学習を行っているが、まちあるきや美しい風景等に触れる機会をもっと増やしてはどうか。子どもたちが個々に「私の町のここが好き、ここが一番お勧め」と、気づいたら素晴らしいと思う。

町長

この度発足する、「良寛記念館応援倶楽部」の「まりの会」が大変期待している。裾野を広げ、家族ぐるみで街を散策して良寛に対する思いを深める事が大切と思う。

議員表彰



10年の経験を活かしたい

三輪 正

このたび10年議員表彰を頂きました。初当選の時から、町民の皆さまと話し合い現場を見て、議会の場で町に伝え、町民の福祉の向上と町の発展のための提言、要望してまいりました。

日々、精進を重ねて議会活動に全力で努めてまいりたいと思います。皆さまのご指導よろしくお願いいたします。

議員表彰を受けて

諸橋 和史

このたび10年議員表彰を頂戴いたしました。これも偏に町民の皆様のおかげとっております。今後も町民の声を行政に提案できればと思います。人口減、空家対策、農業振興等に努力していきたいと思ひます。

今後とも町民各位の意見を見逃す事無く、がんばりたいと思ひます。



初心を忘れず

仙海 直樹

このたび、10年表彰を頂きました。これまで支えてくださった皆様に心から感謝いたします。これからも、初心を忘れずに、先人の皆様が築いてこられた『出雲崎町を守る!』その覚悟で町の発展のために尽くしたいと思います。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

委員会視察・調査報告

8 / 24

社会産業常任委員会

委員（5名）全員で役場議員控室において、大矢産業観光課長の出席を得て、当町の「農業の現状と今後の方向について」と「漁業の現状と問題について」大矢課長より質問ごとに現状と町の対応について説明がありました。

新型コロナウイルスの影響を農業、漁業とも強く受けている現状です。主な質問と説明

①米の仮渡金の大幅値下げに対して町は下落分

の支援をする。
②農業後継者確保について
農地の集積、圃場整備の推進が必要。

③新ブランド米「出雲崎の輝き」について
作付が少ないと販売が不利、増やす対策が必要。

④イノシシ対策について
今年度は8月まで12頭駆除。昨年度は20頭。一層の対策が必要。

⑤魚価は大幅に下落しており、経営は厳しい状況。落ち込み部分の支援が必要。

新型コロナウイルスの影響を強く受け米価、魚価の大幅な値下げは、町の主要産業である農業、漁業の将来に大問題であり、落ち込みの補填が必要と考えます。委員会として町の主要産業の振興を今後とも強く要望してまいります。

社会産業常任委員長

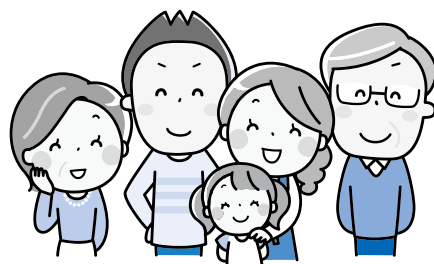
三輪 正

11月11日(水)、13日(金) 2回の開催

「顔が見える議会」を目指して！

出まえ議会 を開催します。

出まえ議会は、議会が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。



お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	時間	担当委員
11月11日(水)	八手地区農環センター	午後7時	社会産業委員
11月13日(金)	海岸公民館	午後7時	総務文教委員

総務文教委員

中野 勝正
小黒 博泰
中川 正弘
諸橋 和史
仙海 直樹

社会産業委員

三輪 正
安達 一雄
高橋 速円
加藤 修三
高桑 佳子

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いします。



議会サロン 今後の予定

開催日	会場	担当議員
11月10日(火)	妻入り会館	中川 正弘 高桑 佳子
11月28日(土)	ホッと情報館 陽だまり	高橋 速円 小黒 博泰
12月8日(火)	12月定例会会期中のため開催しません。	
12月26日(土)	年末のため開催しません。	
1月12日(火)	妻入り会館	中野 勝正 安達 一雄
1月23日(土)	ホッと情報館 陽だまり	三輪 正 諸橋 和史
2月9日(火)	妻入り会館	仙海 直樹 加藤 修三

議会のこと、議員活動のこと
この機会にぜひ聞きに来てください。



気軽にお越しください。
顔を見に来ていただけるだけでも嬉しいです。



※開催時間：午前10時～午前12時

出

雲崎町に移住して、約3か月。

日々の暮らしは、たくさん「はじめまして」に溢れています。

太平洋側の都会しか知らなかったわたしにとっては、車中心の生活も、大きな軒家での暮らしも、海沿いの気候も、新米や採れたての野菜や魚の美味しさも、町のみな

さまが気にかけてくださることも、どれもが新しくはじめてまじりの体験です。きつと、町のみな

まにとつては当たり前で日常の一部であるようなことが、わたしにはどれも新鮮で驚きと感動に満ちています。これから季節を一周するまで、きつと一周しても当分はこんな出会いが続くような気

がしています。まだまだ慣れないことも多く、大変なこともたくさんありますが、日々出会う「はじめまして」を大切に味わいつつ、一步一步、この町での暮らしの歩みを進めていければと思っています。

みなさま、引き続きどうぞよろしくお願ひします！



みんなの声

出雲崎町に来て出会った
たくさんの「はじめまして」

地域おこし協力隊
石坂 優

表紙の小話

8月から、新しい試みとして、議会サロンが始まりました。少しずつ、町民の皆様にかやってくるね」とわかっていただき、おいで下さる方も増えて、大変喜んでいきます。町のこと、議会のこと、ちょっと思っていることなど、気軽に顔を見にきて、お話し下さい。開催日は、第2火曜日が妻入り会館、第4土曜日には陽だまり情報館で、いずれも午前10時から12時までです。11月からの期日、担当は21頁に記載のとおりとなります。担当議員二名が皆様をお待ちしております。

(高桑佳子)



編集後記

今年も、県内町村議会広報を担当する議員の研修会に参加してきました。今回は、出雲崎町も「議会だより」作成の工夫や課題等を発表いたしました。併せて、他町村の工夫や先生の講演を聴き、より充実した広報作りのポイントを勉強してきました。

議会だよりをお読みいただき、議会の活動を知らせていただければと考えております。時には厳しい指摘もありますが、皆さまから「読んだよ」と感想やご意見をいただくと、本当にうれしです。その全てが、次への力になって参ります。

さて、世界中に拡がったコロナウイルス感染症は、未だ終息が見えない未曾有の出来事です。これは、人類に何かを気付かせ、学ばせようとするための警鐘なのかもしれません。新しい生活様式はシンプルでもあります。本当に大切なものを守るべきものは何なのかを見つめ直し、意識を変えていかなければなりません。みんな力で合わせて乗り越えていきましょう。

(高桑佳子)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 安達一雄
委員 中野勝正
委員 三輪正
委員 小黒博泰